

## 日本語と英語のコメディの違い

(Differences in comedy between English and Japanese)

チャーリー・マ

Charlie Ma

82-373 Structure of Japanese

### 1. はじめに

トピックはテレビアニメ「月刊少女野崎くん」のコメディの日英語の違いだ。このアニメが大好きだから、言語を詳しく学びたいと思う。「月刊少女野崎くん」はコメディアニメだから、言葉と構文が意図的に選ばれただろう。この作品は漫画からアニメを作ったから、台詞はキャラクターの人格について大事だと思う。だから、キャラクターは色々な面白い話し方があるし、翻訳者の色々な選択も面白そう。日本語と英語のコメディはちょっと違うと思うので、アニメの台詞を翻訳するのは面白いかもしれない。そして、原作は日本からの作品だから、日本人だけが分かりやすい状況が出たら、どう英語の母語話者に伝えればいいのかは本当の問題だ。例えば、キャラクター達はしりとりゲームをして、可笑しい言葉が言った。翻訳者は英語の母語話者にこのおかしみを伝えるか。有意な問題だと思う。データはテレビアニメ「月刊少女野崎くん」から取った。原作の作者は椿いづみで、アニメの監督は山崎みつえだ。2014年に放送された。制作会社は株式会社動画工房だ。アメリカではCrunchyrollが翻訳して放送している。

## 2. 日英語比較

2. 1 日英語の違いのデータを書く

2. 2 日英語の違いを説明する

データ 1

英語	日本語
Nozaki: <u>Thank goodness...I haven't been able to get anyone lately.</u>	野崎： <u>いやー、助かった。今、誰も捕まらなくて</u>
Sakura: <u>Does he</u> bring girls here all the time?	<u>さ。</u> 佐倉： <u>いつもは女の子連れ込み放題なの？</u>

第一話 4:09-4:16

データ 1 について、英語の文は「I」を主語としているが、日本語の文は「誰」を主語としている。それから、英語の文は他動詞の「get」を使うけど、日本語の文は自動詞の「捕まる」を使う。そして、佐倉の台詞の場合では、英語の文の主語は人間の「he」だが、日本語の文の主語は状況の「いつも」だ。ちなみに、その前の文では「Thank goodness」の他動詞の表現と「助かった」の自動詞の表現の違いもある。

データ 2

英語	日本語
Kashima: Then, what if I keep lifting him up?	鹿島：じゃあ、私が持ち上げ続けるってのはどう？
Sakura: Right now, <u>you should probably just let him go and run.</u>	佐倉：とりあえず、 <u>今すぐ手を放して逃げて。</u>

第三話 10:21-10:28

データ 2 について、日本語の文の最後の「逃げて」は命令な感じかもしれない。それに対して、英語の文はちょっと曖昧な感じがありそうだ。「should」と「probably」を使うから。そして、日本語の文には「今すぐ」が至急の感じを作るけど、英語の文にはその感じの言葉がない。

データ 3

英語	日本語
Sakura: Yeah, right. <u>I've learned my lesson.</u> Nozaki-kun, <u>are you okay on your deadline? I brought ink as a get-well gift...</u>	佐倉：なんてね。 <u>さすがの私も学んだよ。</u> 野崎くん、 <u>締め切り大丈夫？差し入れに墨。。。。</u>

第六話 14:23-14:29

データ 3 について、英語の文には目的語の「lesson」を直接で言ったけど、日本語の文には「さすが」が間接的で「前にあったこと」を表現する。そして、英語の文は「you」を主語としているが、日本語の文は「締め切り」を主語としている。最後の文も面白いと思う。日本語の文では、多分「。。。を持って来た」の感じの言葉を省略した。でも、英語の文には、文脈は全部含めた。英語の文の省略記号は休止の意味だけになってしまった。

データ 4

英語	日本語
Mikoshiba: And then, <u>things went from 2D to 3D.</u> Nozaki: <u>Aren't you getting further from reality?</u>	御子柴：そして <u>二次元から三次元へ。。。。</u> 野崎： <u>どんどん遠ざかってないかそれ。</u>

第四話 3:55-4:02

データ 4 について、御子柴の台詞では、英語の文は主語の「things」と動詞の「went」を特定するけど、日本語の文は場所らしいことだけを述べる。野崎の台詞もそういうパターンがある。英語の文は主語の「you」と目的語の「reality」を特定するが、日本語の文は「それ」の主語だけを特定する。

データ 5

英語	日本語
<p>Kashima: No, <u>he's just trying to hide his shyness. I'm confident</u> that I know Senpai's true feelings <u>better than anyone.</u></p> <p>Hori: I think Kashima <u>hates me now. Her harassment's</u> been insane.</p>	<p>鹿島：いやー、<u>これはただの照れ隠しなんだっ</u> <u>て。</u>先輩の本当の気持ち、<u>私だけはわかってあげ</u> <u>てるつもりだよ。</u></p> <p>堀：なんか鹿島に<u>嫌われたらしい。</u>すげー<u>嫌がら</u> <u>せされた。</u></p>

第八話 9:15-9:30

データ 5 について、鹿島の台詞では、英語の一つ目の文は「he」を主語として「trying」の動詞を使う。それに対して、日本語の文は「これ」を主語として「照れ隠し」の名詞を使う。二つ目の文では、両方の文は「先輩の気持ちが分かる」の話題を強めるけど、方法が違う。英語の文は「better than anyone」、つまり「誰よりも～」を使うが、日本語の文は「私だけ」、つまり「only me」を使う。そして、英語の文も「I'm confident」を使って強める。堀の台詞では、英語の「hates me now」は進行形だが、日本語の「嫌われた」は過去形だ。そして、英語の「now」は「前にそんなことがない」の含みがある。二つ目の文では、英語は名詞の「harassment」を使うけど、日本語は動詞の「嫌がらせする」を使う。

2. 3日英語の文化的見方

データ 1 とデータ 3 を見ると、日本人は自分の行動より状況を説明するほうが良いと思っているだろうが、英語の母語話者はたいてい自分の行動を直接で説明する。それから、コメディーターと考えたら、日本人はコメディーターが面白い状況から生まれたと思っているかもしれないが、英語の母語話者はコメディーターが面白い人から生まれたと思っているだろう。

データ2を見ると、日本人と英語の母語話者は普通でない言い方をしているのが分かる。日本人は普通にアドバイスをする時、間接的な言葉を使う。でも、ここではかなり直接的な言い方を使いそうだ。それに対して、英語の母語話者は普通直接にアドバイスをするけど、ここでは曖昧な言葉を使う。

データ4を見ると、日本人は含みを使ってあまり特定しないほうがいいと思っていそうだ。それに対して、英語の母語話者は直接で意味を述べるほうがいいと思っていそうだ。それで、コメディイについて、日本人はあまり特定しなくて、視聴者に可笑しさを探してみさせると思うが、英語の母語話者は視聴者のために可笑しさを分かりやすくする。

データ5を見ると、両方はどう文の気持ちを強めるが分かる。だが、このデータを見ると、日本語と英語のコメディイは多分同じと思う。両方は同じ方法を使う。それは、自身が満々な声明をすぐに打ち消す。

### 3. おわりに

日本語と英語のコメディイは同じことから生まれたんだけど、どう表現するかは違う。コメディイはよく意外な状況と言葉を使って人間に笑わせる。例えば、データ3の状況は野崎が「SOS」をメールしたんだけど、佐倉は薬ではなくて墨を持って来た。日本人は言い表したら、「この状況は可笑しい」と説明するだろう。でも、英語の母語話者は言い表したら、「状況を引き起こした人は可笑しい」と説明する。これは多分日本の文化の「状況焦点」と西洋の文化の「人間焦点」から根差した違いだ。そして、日本人は状況の全部の情報は説明しないかもしれないが、英語の母語話者は全部の情報を説明するだろう。この違いから違うコメディイの仕方が生まれる。日本人の仕方は情報の一部を省略する。そして、相手がだんだん分かると、だんだん面白くなりそうだ。英語の母語話者の仕方は情報を直接で相手を説明する。それで、話し手と相手は一緒に楽しめるようになる。そして、言葉について、英語はよく「understatement」という言い方を使う。つまり、殊更で何かの大事さを減らして表現する。日本語の場合は、誇大な言い方を使いそうだ。先に説明したんだけど、英語の母語話者はよく直接的な表現を使う。

それで、「understatement」を使ったら、いつもの表現との違いはすぐに見える。「understatement」もたいてい声明が正解に違いない状況を使うから、可笑しさが増える。それに対して、日本人はたいてい間接で控えめな言葉を使うから、誇大な言い方を使ったら、あの声明は注目を引くようになる。

データの出典：<http://www.crunchyroll.com/monthly-girls-nozaki-kun>

参考文献：無い